



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



卓 話 社長のための決算書の見方

税理士 辻 田 重 恵

I・貸借対照表

科 目	金 額	科 目	金 額
1. 流動資産 (1年以内に金になる) 現金 預金 売掛金 ・ ・ ・		1. 流動負債 (1年以内に返済) 支払手形 買掛金 未払金 短期借入金 ・ ・	
2. 固定資産(1年以上) (1)有形固定資産 土地 建物 機械 ・ ・ ・		2. 固定負債(1年以上) 長期借入金 ・ ・ ・	
(2)無形固定資産		負債合計 決算時点の全借金	
(3)投資等		3. 資本金	
3. 繰延資産 開業費 開発費 ・ ・ ・		4. 法定準備金	
		5. 剰余金 別途積立金 当期末処分利益 (うち当期利益)	
		資本合計 決算時点の元手+利益	
資 産 合 計		負債・資本合計	

- ↓
- 1) 決算時点の全財産
 - 2) 費用予備軍である 辛目の決算を心がける

本誌は、職場や家庭に持ち帰って、皆さんで一緒にお読み下さい。

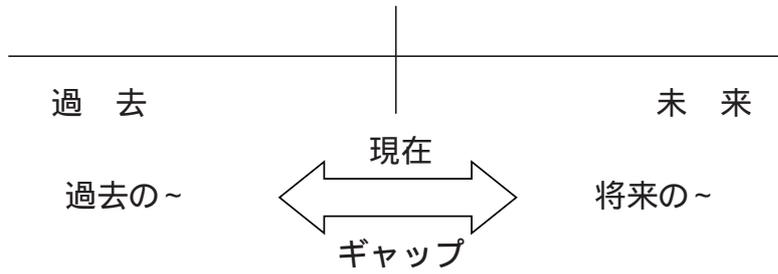
II・損益計算書

科 目	金 額
I 売上高	} 本来の商売の 粗利益を算出
II 売上原価 (差引売上総利益)	
III 販売費及び一般管理費	} 本業の利益を 算出
役員報酬	
給料	
福利厚生費	
通信費	
・ ・ ・ (差引営業利益)	
IV 営業外利益	} 会社の実質 利益を算出
受取利息	
雑収入	
V 営業外費用	}
支払利息	
・ ・ (差引経常利益)	
VI 特別利益	} フロック的な もの
VII 特別損失	
(税引前当期利益) 法人税等 (当期利益)	



科 目	金 額
売上高	
変動費 仕入	
外注費	
差引付加価値	
固定費	
役員配分	
従業員配分	
再生産配分	
経費配分	
先行投資配分	
金融配分	
安全配分 (利益)	
社会配分 蓄積配分	

III ・社長の最大の業務



このギャップを一つずつうめてゆくこと 理想の会社に近づく

何のために会社を経営するのか

何のために儲けるのか

会社の理念をつくり，方向づけを決定

- ・ 国に対しての役割
- ・ 事業をしている地域に対しての役割
- ・ 得意先，仕入先等関係者に対しての役割
- ・ 社員に対しての役割
- ・ 株主に対しての役割



社長の夢・考え方

長期予算として数字に置き換える

見えない

見える

誕生祝

濱 中 幹 雄 会員
井 野 隆 弘 会員
竹 原 俊 三 会員

結婚祝

垣 迫 雅 一 会員 渡 辺 弥 生 会員
岡 本 崇 司 会員 大 森 明 夫 会員
柿 木 國 夫 会員 辻 田 重 恵 会員
鹿 間 行 雄 会員 志野木 貞 夫 会員





President

会長の時間

先週は、2月23日のロータリー創立記念日に付いて振り返って見ました。

本日は、引き続いて、我が国におけるロータリーの生い立ちを思い起こして見たいと思います。

日本のロータリーの創始者は、米山梅吉（三井銀行重役）といわれています。ところが、その米山梅吉にロータリーの存在を伝えたのは、三井物産の米国現地法人の支配人として、既にダラス・クラブの会員であった福島喜三次です。R.I.に現存する記録では、福島が最初の日本人口ロータリアンのようです。

1917年10月に、政府派遣財政経済委員の一員として渡米した米山梅吉は、1918年の正月を福島宅で過ごし、福島のゲストとしてダラス・クラブの例会に出席しております。このときに、米山は、ロータリーに関する知識を取得したものとされています。

1920年1月に帰国した福島は、米山梅吉と共に奔走し、いろいろな困難を克服して、同年10月20日に創立総会開催に漕ぎづけ、日本で最初のロータリー・クラブとして東京クラブが誕生しました。なお翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーへの加盟が承認されました。初代会長には米山梅吉、幹事には福島喜三次が就任しましたが、福島は僅か2回例会に出席しただけで大阪へ転勤となりました。福島は、大阪でも大阪クラブ設立（1923年2月）に尽力しています。その後、神戸（1924年8月）、名古屋（1924年12月）、更に京都、横浜と順次クラブが増えてゆきました。ところが、1940年前後から、日本のロータリー運動は、受難の時代へと入ってゆきました。

次々と解散の憂き目を見ながらも、東京水曜クラブ、大阪金曜会、神戸木曜会などと名前を変えて非公式例会を続けるクラブが18あり、その会員数は1050人だったそうです。

戦後、1949年3月23日に東京クラブのR.I.復帰が決定し、戦後の日本におけるロータリー運動再開の第一歩となりました。

現在、日本全体でのクラブ数は2308、会員数95,094人（2008年12月末）となっております。





Donation **ニコニコ報告**

鹿間 行雄

地区大会が、この週末に迫ってまいりました。参加頂く皆さんよろしくお願ひ致します。又、本日は辻田会員の卓話を楽しみにしています。なお、結婚記念の品ありがとうございます。

志方 正昭・大橋 卓司

王彩麗さん、今日で最後の例会になりましたが、今後もしっかり頑張ってください。

小西 文孝

春が来ました。皆さんしっかり飛ばしましょう。

**竹原 俊三・濱中 幹雄・田中 伸明
井野 隆弘**

誕生日お祝ひ有難うございました。

辻田 重恵

結婚記念日の花贈呈有難うございました。又、本日卓話をさせていただきます。

柿木 國夫・岡本 崇司

結婚記念日の花贈呈有難うございました。

**増田耕太郎・廣瀬 明正・西田 光衛
菱田 克己**

花を飾りましょう。

佐野 栄作・田中 伸明・伊藤 勝之

早退します。



Secretary **幹事報告**

第28回 通算1392回

1. 地区大会8日 8:30 山電高砂駅
2. 回覧その他
加古川平成R.C.よりI.M.の決算報告が届いております。
ザ・ロータリアン誌が届いております。

井戸県知事より再生兵庫の実現へというメッセージが届いております。



Neighbor-club information **近隣クラブINFORMATION**

クラブ名	変更内容	日時・場所
明石北ロータリークラブ	休会(定款第6条第1節cによる)	3/24(火)
明石ロータリークラブ	春季親睦例会のため	4/1(水)
〃	休会(定款第6条第1節cによる)	4/8(水)
高砂ロータリークラブ	高砂青松ロータリークラブとの合同例会	3/13(金) 3/11(水)
〃	休会(祝日のため)	3/20(金)

高砂青松ロータリークラブ

通 算	第 3 7 9 回
2008 ~ 2009	第 9 回
日	平成 21 年 3 月 4 日
場 所	高砂商工会議所

出席者

出席者				臨時出席者	
鹿 間 行		増 田		竹 原	副幹事
菱 田		森 脇			
岡 本		矢 野			
小 林	×	鹿 間 虹			
廣 瀬		原 田	×		

報告事項： 出席報告 (菱田 克己) (右記参照)
 会費納入状況 (小林 久夫) 2 月末 90.38%

議案事項：

- 3 月， 4 月のプログラムの件 (右記参照)
 - 3 月 1 8 日 (水) 職場例会の件
 場所 電源開発(株)火力事業部高砂火力発電所
 手土産
 例会としてゴング， 卓上旗
 - 4 月 1 日 (水) 雑誌・広報委員会担当例会の件
 - 4 月 8 日 (水) 観桜例会の件
 - 4 月 1 7 日 (金) 献血例会の件《ホスト高砂青松 R.C.》【4 月 1 5 日 (水) 例会分】
 - 4 月 2 2 日 (水) 健康診断例会の件
 5 月 1 3 日 井野会員が結果発表
- その他
 - 加古川平成 R.C. 創立 2 0 周年の件 御祝 3 0, 0 0 0 円承認
 - 4 月 1 日 例会 青松 R.C. ホームページの件 菱田会員担当
 クラブ財政ひっ迫対応
 - ・意見交換を行なった。次回改めて意見交換を行うことになった。
 - ・新入会員の増強活動に尽力することになった。

出席報告

1月度 本クラブ出席率 69.57% メークアップ率 15.94% 修正出席率 85.51%
 2月度 本クラブ出席率 68.38% メークアップ率 % 修正出席率

	1/14	1/17	1/28	2/7	2/18	2/25	
会 員 数	52	52	52	52	52	52	
出 席 数	27	37	32	25	34	34	
メークアップ	10	7	5	27			
欠 席 数	8	4	8	0			
出席免除	10	10	10	10	10	10	

3, 4月のプログラム

3 月		4 月	
4	卓話 辻田重恵会員	1	【雑誌・広報委員会担当】
11	高砂R.C.との合同例会 PM12:30～ 講師 河野 仁美氏 於:高砂神社会館 【プログラム委員会担当】	8	観桜例会 PM12:30～ 於:高砂市総合運動公園 テニスコート付近 【親睦委員会担当】
18	職場例会 PM12:30～ 於:電源開発(株)高砂火力発電所 【職業奉仕委員会担当】	15	4月17日(金)に変更 高砂R.C.との合同献血例会 於:サンモール高砂 南駐車場 【社会奉仕委員会担当】
25	卓話 佐野栄作会員	22	健康診断例会 PM12:30～ 於:ふれあいの郷生石研修センター 【職業奉仕委員会担当】
		29	休 会

プログラム予定

3月11日(水)	3月18日(水)	3月25日(水)	4月1日(水)
高砂R.C.との合同例会 PM12:30～ 講師 河野仁美氏 於:高砂神社会館 【プログラム委員会担当】	職場例会 PM12:30～ 於:電源開発(株) 高砂火力発電所 【職業奉仕委員会担当】	卓 話 佐野栄作 会員	【雑誌・広報委員会担当】

例会記録 2009. 3. 4 (水) 通算1470回

ソング	「君が代」「奉仕の理想」「歓迎歌」
四つのテスト	プログラム委員会 京谷慎平副委員長
本日のゲスト	王彩麗さん
出席報告	2月18日 会員数 52名 欠席者 8名 出席率 84.62% <修正による> (この内出席免除者10名) 3月4日 会員数 52名 欠席者 13名 出席率 75.00% (この内出席免除者10名)



播磨ゆかりの偉人伝 ②9

大鳥 圭介 (おおとり・けいすけ) 牢獄から復活した明治の高官

祖父・順平，父・直輔と代々医者之家に生まれた。江戸末期に近い天保3（1832）年である。産声をあげたのは播州赤穂細念村（現在の赤穂郡上郡町）。ちょうど西日本一帯が凶作に見舞われ、「天保の大飢饉」といわれたころだ。

名前は「慶太郎」とつけられた。3歳の時，氏神参拜で「天下泰平」と漢字で書いて周囲を驚かせた。“梅檀（せんだん）は双葉（ふたば）より芳（かんば）し”という。彼もわずか3歳で早くも大物ぶりを発揮していたのである。

14歳になると，祖父も学んだ岡山池田藩の藩校・閑谷学校に入学，儒学，漢字，東洋医学を学んだ。17歳の時，赤穂に帰郷，名前を「圭介」と改めた。改名をしたが，勉学への意欲は相変わらず。赤穂の中島医庵で蘭学の訳本を読みあさった。

大坂に出たのは20歳の時。西洋医学を修得するためである。入門したのは，緒方洪庵が開いていた「適塾」。のちに入ってきた福沢諭吉とは入れ違いになっている。「適塾」で2年間みっちり勉強。普通なら，そのあと故郷に帰って家業の医者を継ぐところだが，圭介が次に向かったのは江戸だった。さらに自らを磨き，世の動きを知るためである。

医者之道を捨てた圭介には波乱万丈の人生が待ち受けていた。安政元（1854）年，坪井塾の塾頭となり，安政4年には繩武館に教授として招かれ西洋砲術（射撃）を学んだ。幕臣（將軍直属の家臣）に取り立てられ，幕府陸軍の育成，訓練にあたった。

そんな圭介に歴史の大波が襲ったのは明治元（1867）年，新政府軍と旧幕府軍との戊辰（ぼしん）戦争。旧幕府軍の圭介は函館五稜郭で抵抗したものの降伏し，投獄の憂き目にあった。

明治5年に出獄したあと新政府に登用された。幕臣から明治政府の高官になった異色の政治家である。工部大学校長，学習院院長を務めたほか，元老院議員として外交や教育，医療分野で活躍し，欧米の産業を視察し日本の近代工業化にも貢献した。出身地の上郡町役場前には圭介の銅像が立っている。

(主な参考文献＝神戸新聞社・編「播磨ゆかりの50人」神戸新聞総合出版センター)



会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)